

遠野郷 駒木鹿子踊公演

こまぎししおどり

(公財)岩手県文化振興事業団自主事業「記録映像制作」
平成28年度 岩手県立博物館芸術鑑賞会



10月29日(土) 当日受付・鑑賞無料

午前部 10:30~11:30

【演目】^{ひとにわ}一庭、^{はしら}柱がかり

11:30~ 曲り屋で^{はかおど}墓踊りの再現(予定)

※墓踊りの会場となる曲り屋は敷地が狭いため、見学のお客様の人数を制限する場合があります。

午後部 13:00~14:30

【演目】^{ひとにわ}一庭、^{めじぐる}女鹿狂い、^{ししさかも}鹿酒盛り

出演 | 県指定無形民俗文化財 駒木鹿子踊保存会

場所 | 岩手県立博物館 屋外芝生広場

※イスや敷物などは必要に応じてご持参ください。

※雨天の場合は規模を縮小し屋内で開催します。

※記録映像制作及び広報活動の一環としてイベントの様子を撮影し、各種博物館活動において公開活用します。撮影に係る肖像権は岩手県立博物館及び(公財)岩手県文化振興事業団に帰属します。

みどころ

記録映像制作のため、「鹿酒盛り」や「墓踊り」など、ふだんは見ることのできない貴重な演目をご披露いただく予定です。総勢60名の勇壮な演舞をお楽しみください。



岩手県立博物館
IWATE PREFECTURAL MUSEUM

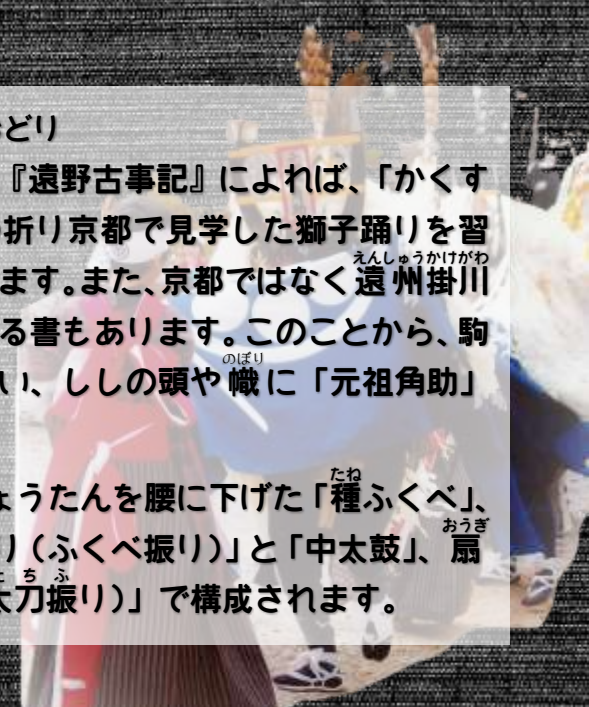
盛岡市上田字松屋敷 34
電話 019-661-2831



駒木鹿子踊 / こまぎししおどり

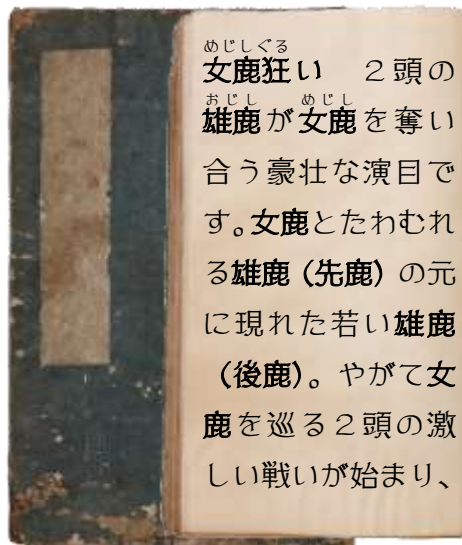
宝暦13年(1763)に記された『遠野古事記』によれば、「かくすけ」という人物が熊野参詣の折に京都で見学した獅子踊りを習い伝えたことに始まるとされます。また、京都ではなく遠州掛川の踊りを習い帰ったと記述する書もあります。このことから、駒木鹿子踊りは角助踊りともいい、ししの頭や幟に「元祖角助」の名を記します。

【踊り手】ししのほかに、ひょうたんを腰に下げた「種ふくべ」、子供たちで構成される「子踊り(ふくべ振り)」と「中太鼓」、扇や刀を手に踊る「刀かけ(太刀振り)」で構成されます。



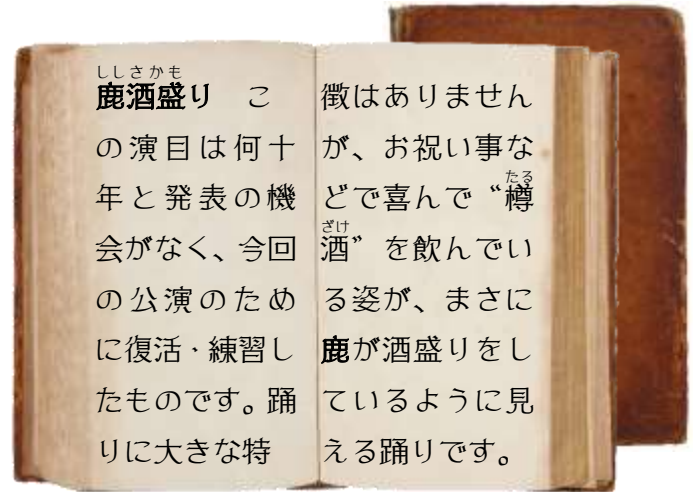
柱がかり 若返りの木とされる“におい柱”とよばれる霊木。その柱の周りで、1頭のししが元気になろうと“あの手この手”で一生懸命に踊ります。

そのししを応援しようと、種ふくべがたわむれるように踊ります。その姿は実に勇壮で、最後に柱にからまり満足するししの姿が見事な踊りです。



めじしぐる
女鹿狂い 2頭の
おじし
雄鹿が女鹿を奪い
合う豪壮な演目です。女鹿とたわむれる雄鹿(先鹿)の元に現れた若い雄鹿(後鹿)。やがて女鹿を巡る2頭の激しい戦いが始まり、

先鹿が勝利します。負けた後鹿は種ふくべから力水を与えられて元気を取り戻し、再び戦いを挑み勝利します。負けた先鹿は更に立ち向かい、女鹿を奪い返して踊りを納めます。



ししがかも
鹿酒盛り この演目は何十年と発表の機会がなく、今回の公演のために復活・練習したものです。踊りに大きな特徴はありませんが、お祝い事などで喜んで“樽酒”を飲んでいける姿が、まさに鹿が酒盛りをしているように見える踊りです。

10月16日(日)は年に一度の博物館まつり!!

お子さま向けプログラム以外も充実の1日です。開門9:00~

川又神楽 公演

県立博物館最寄りの地域で伝承活動を続ける川又神楽による公演です。

- ① 12:00~12:30 演目:みかぐら
- ② 14:00~14:30 演目:三番叟

出演:盛岡市 川又神楽復活後援会
場所:岩手県立博物館 屋外芝生広場
※雨天時は屋内で開催します。
※川又神楽では舞い手を募集中です!!

Letters ~手紙にみるドラマ

岩手のスポーツ史にまつわる方の手紙と、そこにあるドラマを、朗読というかたちで紹介いたします。

- ① 13:00~13:30 <9:10~整理券配付>
- ② 15:00~15:30 <13:00~整理券配付>

出演:IBC岩手放送アナウンサー
場所:岩手県立博物館 講堂
定員:120名
その他:当日受付・無料

